



福島医発第2742号(地)

平成25年 2月25日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会長 松 田 峻一良
(公 印 省 略)

在宅医療に係る調査の調査結果の送付について

平成24年9月27日付け福島医発第1637号(地)にてご連絡いたしました標題調査について、今般、福岡県保健医療介護部医療指導課より調査結果をとりまとめた旨の連絡が別添のとおりありました。

つきましては、貴会におかれましても本件にご了知いただきますようお願い申し上げます。

なお、本調査結果については、調査対象医療機関にも同課より直接通知されることとなっております。

小郡三井医師会より

地域保健担当理事 白石恒明
会長 蒲池 壽

「公印省略」

24医指第3648号
平成25年2月21日

社団法人福岡県医師会
会長 松田 峻一良 殿

福岡県保健医療介護部長
(医療指導課)

在宅医療に係る調査の調査結果の送付について

本県の保健医療行政につきましては、平素からご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成24年9月26日付24医指第1992号において貴会員への周知等をお願いしておりました在宅医療に係る調査について、調査結果が出ましたので送付いたします。本調査にご協力を頂きまして誠にありがとうございました。

なお、提供頂きました調査票は、データ化し「福岡県保健医療計画」策定等において活用させて頂いておりますこと申し添えます。

記

- | | | | |
|---|---------|--|-------|
| 1 | 調 査 名 | 在宅療養支援診療所・在宅療養支援病院 調査 | |
| 2 | 調 査 対 象 | 県内の在宅療養支援診療所 (830 か所)
県内の在宅療養支援病院 (39 か所) | |
| 3 | 調 査 票 | 別添のとおり | |
| 4 | 回 答 率 | 在宅療養支援診療所 | 77.8% |
| | | 在宅療養支援病院 | 84.6% |

(問合せ先)

福岡県保健医療介護部医療指導課

在宅医療係 篠原、中野

電話：092-643-3275

写

「公印省略」

24医指第3648号
平成25年2月21日

在宅療養支援診療所 管理者 殿
在宅療養支援病院長 殿

保健医療介護部医療指導課長
(在宅医療係)

在宅医療に係る調査の調査結果の送付について

本県の保健医療行政につきましては、平素からご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、平成24年10月1日付24医指第1992号においてお願いしておりました
在宅医療に係る調査について、調査結果が出ましたので送付いたします。
本調査にご協力を頂きまして誠にありがとうございました。
なお、提供頂きました調査票は、データ化し「福岡県保健医療計画」策定等において
活用させて頂いておりますこと申し添えます。

記

- | | | | |
|---|---------|--|-------|
| 1 | 調 査 名 | 在宅療養支援診療所・在宅療養支援病院 調査 | |
| 2 | 調 査 対 象 | 県内の在宅療養支援診療所 (830 か所)
県内の在宅療養支援病院 (39 か所) | |
| 3 | 調 査 票 | 別添のとおり | |
| 4 | 回 答 率 | 在宅療養支援診療所 | 77.8% |
| | | 在宅療養支援病院 | 84.6% |

(問合せ先)

福岡県保健医療介護部医療指導課
在宅医療係 篠原、中野

電話：092-643-3275

在宅療養支援診療所・在宅療養支援病院 調査 結果 (概要)

1 調査の目的

- ・「在宅医療」分野の医療計画策定の基礎データとするため。
- ・5年前（H19）の同調査結果と比較し、設置状況や取組の変化を把握するため。

2 調査方法 調査票を郵送し、回答はFAX返送

3 調査基準日 平成24年9月1日

4 調査対象と回答率（H24.9.26現在 九州厚生局への届出数）

調査対象	調査対象数	回答数	回答率
県内の在宅療養支援診療所	830	646	77.8
県内の在宅療養支援病院	39	33	84.6

5 結果

1) 全体（在宅療養支援診療所と在宅療養支援病院を合算）でみた場合（表1）

- ・二次医療圏で設置数や活動（訪問診療、看取り等）状況に差があります（表2）
 - ・訪問可能範囲は、平均約8km、訪問診療にかかる移動時間は平均約21分でした。
 - ・医師1人あたりの訪問診療患者数は、平均16.5人でした。
 - ・在宅療養支援病院・診療所1ヵ所あたりの訪問診療患者数は、医師1人体制の機関で平均15.7人、医師複数体制の機関で平均40.5人でした。
 - ・「現在の体制で訪問診療に対応できる患者数」は20,188人でした。
 - ・「5年後に訪問診療患者を何人にしたいか」については、「増やしたい」が277機関（40.8%）、「現状のまま」が295機関（43.4%）、「減らしたい」が76機関（11.2%）、未回答が31機関（4.6%）でした。
- また、5年後の訪問診療患者数は23,946人でした。（現在の20,188人から18.6%増加）
- ・訪問診療実施患者を居所別にみると、自宅が33%、施設が67%でした。
 - ・在宅医療推進のための課題は、「緊急時の入院体制」（約40%）、「24時間対応体制のための連携」（約40%）が多くあがっています。（重複あり）

2) 5年前の調査との比較（※在宅療養支援診療所のみの数）（表5）

- ・無床の在宅療養支援診療所が1.7倍に増加しています。
- ・訪問診療の対象範囲、要する移動時間には変化がありませんでした。
- ・患者の居所は、自宅の割合がH19年度60%からH24年度は32%に減少、自宅以外の施設の割合が40%から68%に増加しており、療養場所が大きく変化しています。
- ・医師1人あたりの訪問診療対象患者数は5.7人増加しています。
- ・在宅療養支援診療所1ヵ所あたりでみた場合、医師1人体制の診療所の訪問患者数は6.7人増加、医師複数体制の診療所では23.6人増加しています。
- ・訪問診療を受ける頻度は、月2回の者の割合が16.5%増加し、週1回の者の割合が14.5%減少しています。
- ・在宅医療推進の課題では、5年前の「患者負担の軽減」から「緊急時入院体制」や「24時間体制維持のための連携機関確保」へと、地域内での連携の必要性が上昇しています。

[表1] 在宅療養支援診療所と在宅療養支援病院を合わせた結果 概要

		今回調査(H24年10月)時
○調査対象数	在宅療養支援病院	869 件
	在宅療養支援診療所	39 件
	有床	830 件
	無床診療所	209 件(25.2 %)
○回収数(率) (在宅療養支援病院+在宅療養支援診療所の合算)		621 件(74.8 %)
【在宅療養支援病院・診療所の状況】		
主たる診療科	内科	62.0 %
	外科	11.2 %
訪問診療	訪問可能エリア	平均 8 km
	移動時間	平均 21 分
訪問診療対象患者	医師1人あたり	平均 16.5 人
	(在支診療所あたりの訪問診療対象者)	平均 15.7 人
在宅医療提供上の課題	医師複数体制	平均 40.5 人
	「緊急時の入院体制」	(約 40 %)
	「24時間対応体制維持のための連携機関の確保」	(約 40 %)
	「患者の経済的負担の軽減」	(約 30 %)
今後、訪問診療対象者をどの程度増やすことができるか		H24現在の対応可能数 → 5年後(H29)
(患者実数)		20,188 件 → 23,946件 18.6%増
【在宅療養支援病院・診療所を利用している患者の状況】		
患者の居所	自宅	33 %
	自宅以外の施設	67 %
主な傷病	高血圧	48.9 %
	認知症	41.3 %
	脳梗塞	19.3 %
	高血圧以外の心疾患	27.3 %
訪問診療を受ける頻度	月2回	61.8 %
	週1回	16.0 %
医療必要度	医療区分Ⅰ	65.8 %
	医療区分Ⅱ	25.3 %
	医療区分Ⅲ	8.9 %

[表2] 二次医療圏別、在宅療養支援病院・在宅療養支援診療所の概況

二次医療圏	在宅療養支援病院数 在宅療養支援診療所数		医師数(常勤換算)		訪問診療件数		看取り患者数(1年間)	
		可住地面積あたりの数(100km ²)		圏域内65歳以上人口比(対1万人)		圏域内65歳以上人口比(対1万人)		圏域内65歳以上人口比(対1万人)
福岡・糸島	245	71.0	395	14.3	8,493	308.1	555	20.1
粕屋	31	27.9	59	11.8	942	188.6	70	14.0
宗像	18	16.6	23	6.3	248	69.4	83	23.1
筑紫	44	39.9	71	9.4	1,094	145.7	82	10.9
朝倉	35	21.2	45	19.2	413	176.6	43	18.6
久留米	111	29.9	170	16.2	1,308	124.1	194	18.4
八女・筑後	37	16.3	40	11.2	443	122.2	52	14.4
有明	51	22.6	85	12.3	916	131.9	77	11.0
飯塚	19	10.4	35	7.1	714	145.0	68	13.8
直方・鞍手	16	12.4	21	6.4	416	129.3	22	6.9
田川	16	11.0	22	5.6	265	67.7	26	6.6
北九州	212	57.8	261	9.2	4,410	156.0	305	10.8
京築	34	13.2	56	11.3	1,565	316.8	149	30.2
福岡県	869	31.7	1,283	11.4	21,227	189.0	1,725	15.4

※使用した圏域面積は、国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調（H22）」

※医師数、訪問診療件数、看取り患者数は、調査結果を回答率で全数に割り戻したもの。

[表3] 在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院ごとの概要

		在宅療養支援診療所の状況		在宅療養支援病院	
○調査対象数		830 件		39 件	
有床無床の別	有床	209 件 (25 %)		39 件 (100 %)	
	無床	621 件 (75 %)			
○回収数 (率)		646 件 (78 %)		33 件 (85 %)	
【調査結果】					
主たる診療科	内科	62.4 %		56.4 %	
	外科	11 %		15.4 %	
	その他				
訪問診療	訪問可能エリア	平均	8 km	平均	9 km
	移動時間	平均	21 分	平均	22 分
訪問診療対象患者	医師1人あたり	平均	18.7 人	平均	4.6 人
(在支診療所あたり)	医師1人体制	平均	15.7 人	平均	17.1 人
	医師複数体制	平均	42.5 人	平均	24.3 人
在宅医療提供上の課題 (多い順)		「緊急時の入院体制」 (約 40 %)		「医師の確保」 (約 60 %)	
		「24時間対応体制維持のための連携機関の確保」 (約 40 %)		「看護師の確保」 (約 40 %)	
		「患者の経済的負担の軽減」 (約 30 %)		「患者の経済的負担の軽減」 (約 30 %)	
今後、増やせる数		19,283 件 → 22,500 件 (16.7%増)		905 件 → 1,446 件 (59.8%増)	
【利用している患者の状況 (割合)】					
患者の居所	自宅	32 %		51 %	
	自宅以外の施設	68 %		49 %	
主な傷病 (※重複あり)	高血圧	49.2 %		42.7 %	
	認知症	42.5 %		15.2 %	
	脳梗塞	19.4 %		17.3 %	
	高血圧以外の心疾患	27.5 %		21.7 %	
訪問診療を受ける頻度	月2回	62.3 %		51.9 %	
	週1回	16.4 %		8.2 %	
医療必要度	医療区分Ⅰ	65.8 %		64.8 %	
	医療区分Ⅱ	25.4 %		23.3 %	
	医療区分Ⅲ	8.8 %		11.9 %	

[表4] 訪問診療中の患者の疾患 (重複回答)

疾患名	診療所		病院		合計	
糖尿病	2440	15.4%	95	12.6%	2535	15.3%
不整脈	1097	6.9%	34	4.5%	1131	6.8%
うっ血性心不全	1902	12.0%	63	8.4%	1965	11.8%
高血圧	7797	49.2%	321	42.7%	8118	48.9%
虚血性心疾患	1365	8.6%	66	8.8%	1431	8.6%
大腿骨頸部骨折	665	4.2%	23	3.1%	688	4.1%
脊椎圧迫骨折	705	4.4%	24	3.2%	729	4.4%
その他の骨折	418	2.6%	16	2.1%	434	2.6%
関節リウマチ	435	2.7%	7	0.9%	442	2.7%
アルツハイマー	4426	27.9%	88	11.7%	4514	27.2%
失語症	188	1.2%	5	0.7%	193	1.2%
脳性麻痺	177	1.1%	8	1.1%	185	1.1%
脳梗塞	3073	19.4%	130	17.3%	3203	19.3%
脳出血	525	3.3%	47	6.3%	572	3.4%
認知症	2308	14.6%	83	11.1%	2391	14.4%
多発性硬化症	49	0.3%	2	0.3%	51	0.3%
パーキンソン	653	4.1%	31	4.1%	684	4.1%
難病	137	0.9%	21	2.8%	158	1.0%
四肢麻痺	264	1.7%	11	1.5%	275	1.7%
片麻痺	825	5.2%	29	3.9%	854	5.1%
脊髄損傷	99	0.6%	12	1.6%	111	0.7%
ぜんそく	849	5.4%	16	2.1%	865	5.2%
肺気腫	663	4.2%	25	3.3%	688	4.1%
腎不全	536	3.4%	14	1.9%	550	3.3%
がん	959	6.1%	70	9.3%	1029	6.2%
その他	629	4.0%	106	14.1%	735	4.4%

〔表5〕在宅療養支援診療所について、前回調査（H19年）との比較

	前回調査(H19年10月)時	今回調査(H24年10月)時	前回調査との比較
○調査対象数	654 件	830 件	5年間で約1.3倍増
有床無床の別			
有床診療所	137件 (28.0 %)	209 件 (25.2 %)	
無床診療所	356件 (72.0 %)	621 件 (74.8 %)	無床が約1.7倍増
○回収数(率)	493件 (75.4 %)	646 件 (77.8 %)	
【在宅療養支援診療所の状況】			
主たる診療科			
内科	65.9 %	62.4 %	
外科	10.8 %	11 %	
訪問診療			
訪問可能エリア	平均 8 km	平均 8 km	変化はない
移動時間	平均 21 分	平均 21 分	変化はない
訪問診療対象患者			
医師1人あたり	平均 12.9 人	平均 18.7 人	診る数が5.7人増
(在支診療所あたりの訪問診療対象者)			
医師1人体制	平均 9.1 人	平均 15.7 人	診る数が6.7人増
医師複数体制	平均 18.9 人	平均 42.5 人	診る数が23.6人増
在宅医療提供上の課題			
	「患者の経済的負担の軽減」 (約 40 %)	「緊急時の入院体制」 (約 40 %)	↑
	「24時間対応体制維持のための連携機関の確保」 (約 30 %)	「24時間対応体制維持のための連携機関の確保」 (約 40 %)	↑
	「診療報酬の引き上げ」 (約 30 %)	「患者の経済的負担の軽減」 (約 30 %)	↓
今後、訪問診療対象者をどの程度増やせるか (患者実数)		現時点 (H24) の 対応可能数 → 5年後	
		19,283 人 → 22,500 人	5年間で16.7%増
【在宅療養支援診療所を利用している患者の状況】			
患者の居所			
自宅	60 %	32 %	逆転
自宅以外の施設	40 %	68 %	
主な傷病			
高血圧	43.3 %	49.2 %	
認知症	32.7 %	42.5 %	
脳梗塞	21.6 %	19.4 %	
高血圧以外の心疾患	29.9 %	27.5 %	
訪問診療を受ける頻度			
月2回	45.8 %	62.3 %	
週1回	30.9 %	16.4 %	
医療必要度			
医療区分Ⅰ	62.1 %	65.8 %	
医療区分Ⅱ	27.1 %	25.4 %	
医療区分Ⅲ	10.8 %	8.8 %	

[表 6] 在宅療養支援診療所と在宅療養支援病院を合わせた数 前回調査との比較

	前回調査(H19年10月)時	今回調査(H24年10月)時	前回調査と比較して
○調査対象数	654 件	869 件	5年間で約1.3倍増
在宅療養支援病院		39 件(28.5 %)	
在宅療養支援診療所		830 件	
有床	137 件 (28.0 %)	209 件(25.2 %)	
無床診療所	356 件 (72.0 %)	621 件(74.8 %)	無床が約1.7倍増
○回収数(率)	493 件 (75.4 %)	679 件(78.1 %)	
【在宅療養支援病院・診療所の状況】			
主たる診療科			
内科	66 %	62 %	
外科	11 %	11.2 %	
訪問診療			
訪問可能エリア	平均 8.0 km	平均 8 km	変化はない
移動時間	平均 21.0 分	平均 21 分	変化はない
訪問診療対象患者			
医師1人あたり	平均 12.9 人	平均 16.5 人	診る数が3.6人増
(在支診1ヵ所あたりの訪問診療対象者)			
医師1人体制	平均 9.1 人	平均 15.7 人	診る数が6.7人増
医師複数体制	平均 18.9 人	平均 40.5 人	診る数が21.6人増
在宅医療提供上の課題			
	「患者の経済的負担の軽減」(約 40 %)	「緊急時の入院体制」(約 40 %)	↑ 地域で整える
	「24時間対応体制維持のための連携機関の確保」(約 30 %)	「24時間対応体制維持のための連携機関の確保」(約 40 %)	↑ 事項が上昇
	「診療報酬の引き上げ」(約 30 %)	「患者の経済的負担の軽減」(約 30 %)	↓
今後、訪問診療対象者をどの程度増やせるか(患者実数)		現在の対応可能数 → 5年後 20,188 件 → 23,946 件 (18.6%増)	
患者の居所			
自宅	60 %	33 %	逆転
自宅以外の施設	40 %	67 %	
主な傷病			
高血圧	43 %	48.9 %	
認知症	33 %	41.3 %	
脳梗塞	22 %	19.3 %	
高血圧以外の心疾患	30 %	27.3 %	
訪問診療を受ける頻度			
月2回	46 %	61.8 %	
週1回	31 %	16.0 %	
医療必要度			
医療区分Ⅰ	62 %	65.8 %	
医療区分Ⅱ	27 %	25.3 %	
医療区分Ⅲ	11 %	8.9 %	